

市民がまもる生物多様性

フォーラム

～ 仲間の集め方・活動の伝え方～

生物多様性を守る活動を進めるには、多くの人々の協力が必要です。本フォーラムでは、様々な地域の人々の協力を得ることで、貴重な動植物を守っている2つの実践事例を紹介し、「生物多様性」を守る取り組みの、効果的な伝え方について考えます。ぜひご参加下さい。

プログラム:

基調講演

14:05~14:35

里山里海の生物多様性保全と新たなコモンズ

千葉県生物多様性センター・県立中央博物館 ● 副技監・副館長 **中村 俊彦 氏**

事例紹介 1

14:35~15:00

コアジサシの保護から考える連携のあり方

NPO 法人 リトルターン・プロジェクト ● 代表 **増田 直也 氏**

事例紹介 2

15:00~15:25

まちづくりから生物多様性を守る方法

北総里山クラブ ● 代表 **長谷川 雅美 氏**

パネルディスカッション 15:40~16:10

仲間を集め、理解を得るためのポイント

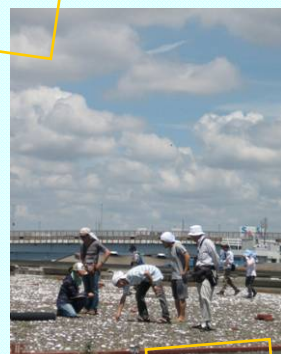
コーディネーター:

千葉県生物多様性センター・県立中央博物館 ● 副技監・副館長 **中村 俊彦 氏**

パネリスト(順不同):

NPO 法人 リトルターン・プロジェクト ● 代表 **増田 直也 氏**

北総里山クラブ ● 代表 **長谷川 雅美 氏**



関東地方 12 の
取り組みを紹介したパン
フレットを配布します！

日時: 平成 23 年 **1 月 30 日 (日) 14:00~16:15** (受付開始 13:30)

場所: 千葉商工会議所 第 2 ホール (最寄り駅: JR 千葉駅、京成千葉中央駅、千葉都市モノレール葭川公園駅)

対象: 生物多様性の保全に取り組みたいと思っている方、すでに取り組みされている方 など

参加費: 無料

申込み: FAX または E-mail にて申込み (裏面の申込書参照)

定員: 70 名 (申込制・先着順)

主催 ● 環境省 関東地方環境事務所

協力 ● 千葉県生物多様性センター・ちば生物多様性県民会議



講演者・パネリストのご紹介

千葉県生物多様性センター・県立中央博物館 副技監・副館長 中村 俊彦 氏

ちば・谷津田フォーラム代表、東京湾学会副会長、日本自然保護協会理事。専門は植物生態学。自然環境の保全、復元に関する研究を行うとともに、自然保護や環境教育の活動に参加している。

NPO 法人 リトルターン・プロジェクト 代表 増田 直也 氏

東京都大田区の水処理施設の屋上で、希少な渡り鳥コアジサシの繁殖場所を守る取り組みを進めている。活動には市民、行政、研究者や学生など、多くのボランティアが参加している。

北総里山クラブ 代表 長谷川 雅美 氏

“里山に囲まれたまち”を目指し、北総地域で活動する17の市民団体が連携し、地域の大切な自然や、里山として維持管理がされていない場所の調査、保全策の立案や行政への提案活動を行っている。

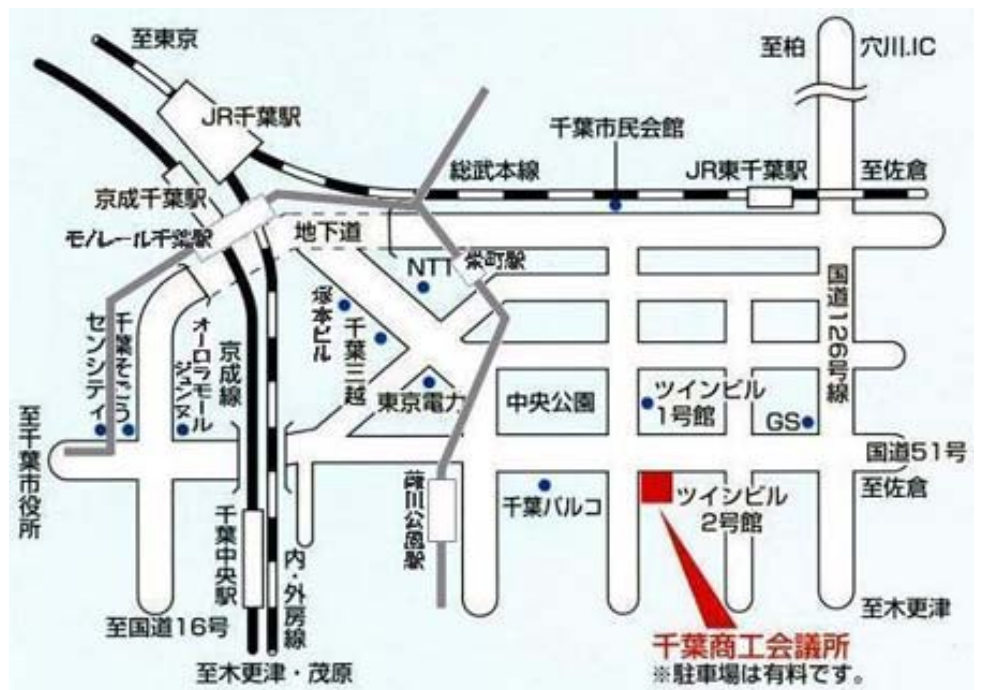
会場アクセス

千葉商工会議所 第2ホール

(千葉市中央区中央 2-5-1)

千葉中央ツインビル 2号館 14階

- JR 千葉駅より
徒歩約 10 分
- 京成千葉中央駅より
徒歩約 8 分
- 千葉都市モノレール
菟川公園駅より 徒歩約 3 分



申込方法 参加申込書に必要事項を記入し、**FAX**または**E-mail**にてお申し込み下さい。

申込み・問合せ先 (財)日本生態系協会 千葉フォーラム係 (TEL : 03-5951-0244)



バーコードリーダーで E-mail アドレスが読込できます

参加申込書 市民がまもる生物多様性フォーラム ～仲間の集め方・活動の伝え方～ (1/30)

フリガナ
お名前

ご所属

TEL

FAX

E-mail

※ 折り返し参加証を発行し返信いたしますので、当日受付でお示し下さい
※ 申込のためにお知らせいただいた個人情報は、本イベントの連絡以外には使用いたしません